

設立 1977年

診療科目 内科・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科・糖尿病内科・内視鏡内科・脳神経内科・小児科・外科・心臓血管外科・消化器外科・乳腺外科・内視鏡外科・肛門外科・整形外科・脳神経外科・精神科・皮膚科・泌尿器科・婦人科・眼科・耳鼻いんこう科・リハビリテーション科・麻酔科・放射線科・病理診断科・緩和ケア内科
健診・被爆者外来・禁煙支援外来

看護単位 外来(専門外来・一般外来)
救急内視鏡センター
地域医療連携地域医療連携部
手術室
2階病棟(急性期一般・HCU)…………… 41床
3階西病棟(急性期一般)…………… 45床
4階西病棟(地域包括ケア)…………… 37床
3階東病棟(回復期リハビリテーション)… 44床
4階東病棟(緩和ケア)…………… 19床



■ JR可部線大町駅より徒歩約5分 ■ 中須バス停より徒歩約3分
■ アストラムライン大町駅又は古市駅より徒歩約5分

アストラムライン上安駅・大町駅・フジグラン緑井店前より無料送迎バスを運行
※赤矢印は午前7時～9時は進入禁止です。
■は、病院駐車場です

広島医療生活協同組合
広島共立病院

<http://www.hiroshimairyo.or.jp/>

〒731-0121 広島市安佐南区中須2丁目20-20
TEL:082-879-1111(代)
FAX:082-879-6964



広島共立病院 看護部



大切にします
～目と手と心～



メールアドレスのQRコード
medi-wing@hiroshimairyo.or.jp

地域と共に歩む、 広島共立病院のこれから…

広島共立病院の前身は、安佐地域の人々の身近な医療機関として役割を果たしてきた「安佐診療所」でした。

その後、この地域の医療への要望の高まりとともに、

1977年「広島共立病院」としてスタート。現在に至ります。

その間、「患者さんが主人公」である医療機関という信念をつらぬき

地域からの信頼と信用をいただけるように活動しています。

患者さん=主人公とするならば、看護師は主人公を支え、

輝かせる名脇役であり演出家です。

それぞれに個性をもった看護師たちが真摯に学びトライしていくことで、

病院全体が輝きを増していきます。

「人の役に立ちたい」「やりがいのある仕事にしたい」



そんな思いをもったあなたも、ぜひ仲間に加わってください。

広島共立病院の理念

患者の人権を守り、安全・安心で
信頼される医療を実践します。

[広島共立病院の基本方針]

1. 無差別平等で質の高い医療を提供します
2. 患者第一を貫き、患者・住民との共同の営みの医療を行います
3. ヘルスプロモーション活動で、患者・職員・地域の健康状態を改善します
4. 地域での保険・医療・福祉のネットワークづくりを推進します
5. 職員教育を重視し、いきいきと成長する専門職を育てます
6. 平和な社会をめざし、社会保障を守り発展させる活動を行います

医療福祉生協のいのちの章典

いのちとくらしを守り健康を
はぐくむための権利と責任

- 自己決定に関する権利
- 自己情報コントロールに関する権利
- 安全・安心な医療・介護に関する権利
- アクセスに関する権利
- 参加と協同

民医連のめざす看護の基本となるもの

[患者の見方・とらえ方]

- 患者観：いのちの平等と個人の尊厳
- 人間観：変革し発達する存在
- 疾病観：生活と労働の視点
- 医療観：患者・住民と医療従事者の共同の
いとなみ

[看護の視点・優 点]

- 視点
- ① 患者の立場に立つ
 - ② 患者の要求から出発する
 - ③ 患者とともにたたかう
- 優 点
- ① 総合性・継続性
 - ② 無差別性
 - ③ 民主性
 - ④ 人権を守る運動

[社会の見方・とらえ方]

日々の出来事、社会問題、政治、経済などについて
検討する

全日本民主医療機関連合会（民医連）には全国344法人、
1768医療・福祉・介護事業所が加盟しています。

[広島共立病院 看護部の理念]

わたしたちは、「気づきの目」を養い
「愛ある看護の手」と「思いやりの心」を大切にします。

～目と手と心～



ビジョン

地域の「いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護」

- 1 対象の変化に応じた最高の看護ケア(ケアリング)を大切にします
- 2 看護師の五感をフルにはたらかせ、生命力の変化をいち早く読み取り関わります
- 3 安佐南区で暮らす人々への「ヘルスプロモーション(保健予防)」をデザインします
- 4 専門職として自主自律の精神のもと自己研鑽に努めます

看護部5カ年計画

- 1 急変時(出血時)の患者の兆候をキャッチし、事実を迅速かつ正確に伝え対応できる
- 2 頻繁(しばしば発生し、すぐまた起こる)に発生するエラー2項目(薬剤・転倒転落)に対し看護部全体で改善に取り組む
- 3 患者・家族が聞きたいと思っている情報を丁寧に伝えることができる
- 4 「地域の看護」を学び地域で暮らす生活者として患者を捉え、個別性のあるケアを提供し退院後の生活の場にもつなげる事ができる



広島共立病院副院長
生協看護部長
手術看護認定看護師 林 操

広島共立病院
総看護師長
認定看護管理者 菅 太佳子



新人看護職員共育

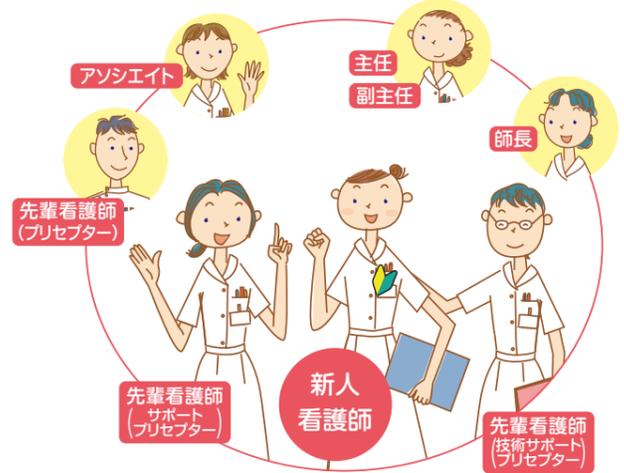
1年間の教育プログラムにそった配属前研修、基礎技術研修、ナラティブ研修は、集合研修で毎月実施しています。

配属職場では各職場1年間のOJTプログラムをたてて、アソシエイト(新人教育担当者)を中心とした「**チーム支援型**」のプリセプターシップで成長を支援します。

「**チーム支援型**」とは、2年目以上の看護師全員が実施指導者(プリセプター)となり、精神面・技術面を支援する「**チーム支援型**」の共育体制となっています。

1年間で、厚生労働省新人看護職員研修ガイドラインの看護職員として必要な基本姿勢と態度、看護技術、管理的側面の到達目標が目安まで到達できることと、当院クリニカルラダーのレベル1に到達することを目標としています。

定期的な面談で個人の進捗状況を確認し、OJTプログラムを変更する等、個人にあわせた成長を支援します。



【看護部の共育理念】



病院理念、看護部理念に基づき、**愛のある看護を実感できる看護職員を育成します。**

- ① クリニカルラダーを活用し、自らが目標を持ち成長できるよう支援します。
- ② 患者さんの支援者として、生活や背景まで「見る」ことを大切に、看護職員を育成します。

- 共育委員会やケアチームの活動を通して学習、成長できます。
- 卒後3年間の基礎教育研修、レベル別研修を行っています。
- 法人内訪問看護ステーション・介護施設・診療所研修、ジョブローテーションを行っています。
- 被爆体験聞き取りや、気になる患者さんの自宅訪問なども実施しています。
- 研修として、「看護研究発表会」や「各種研修会」への参加、「看護を語る会」など学びの場を提供しています。
- 研修や教育の間口は広く、院内だけではなく院外にも広がっています。
- キャリア支援の面では、認定看護師・ジェネラリストなど、将来目指す方向性が明確になるよう教育計画を立てています。
- 職場の中のグループで新人のサポートを行い、先輩看護職員が手本となり新人看護職員の目標が達成できるように支援します。
- 新人看護職員は、入職後5年を目安に複数科での経験ができるようローテーションを計画していきます。



キャリア支援



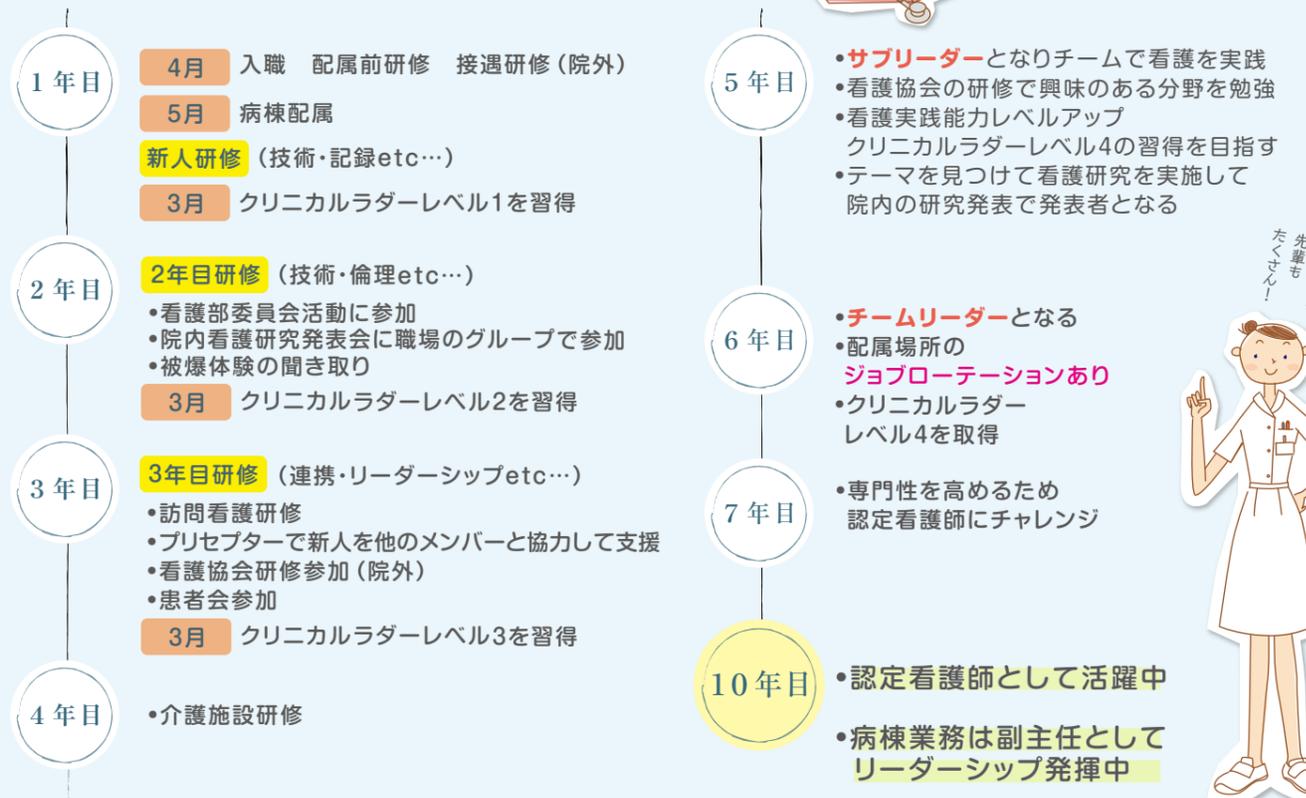
- 緩和ケア認定看護師 ●感染管理認定看護師 ●集中ケア認定看護師
 - 皮膚排泄ケア認定看護師 ●手術看護認定看護師 ●認定看護管理者
- 活躍中



入職から10年まで

新米ナースの歩み(例)

HIROSHIMA KYORITSU HOSPITAL



職場を紹介します



手術室

手術室4室と心血管撮影室があり、外科・整形外科を中心とした手術や、心臓カテーテル検査・治療が毎日行われています。**手術はもちろんのこと、麻酔や周手術期看護、人の身体についてたくさん学ぶ事ができます。**また、様々な機器類を扱うので、器械に詳しくなれるかもしれません。看護師は少人数ですが、明るい人が多く和気あいあいとした雰囲気です。毎年、グループごとに看護研究に取り組み、皆で学習を深めています。各科の医師やMEと連携しながら、安全で安心な手術の遂行のため日々頑張っています。

2階病棟

内科を中心とした急性期一般病棟(HCU8床)です。

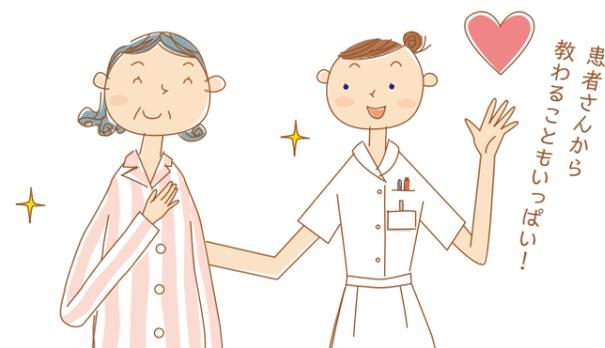
ご高齢の方が多く、介護度や医療依存度も高い病棟となっております。循環器・呼吸器・消化器疾患の患者さんが多く入院されており、急性期医療の特徴として高度な看護ケアが求められています。急性期治療を終え、安心して元の生活に戻れるよう、他職種連携や退院支援に力を入れています。やりがいと使命感を持って働くことができる職場作りを目指し、日々奮闘しています。



3階東病棟

回復期リハビリテーション病棟です。

脳血管疾患による麻痺や高次脳機能障害などの後遺症を持った方のリハビリ、骨折など整形外科疾患や、入院により生じた廃用症候群や筋力低下へのリハビリを目的とした方の看護を行っています。多職種合同でカンファレンスを実施し、日々変化していく患者さんのADL状況に合わせた援助・指導、環境調整、退院支援をしています。病棟には看護師の他に、多職種が多くいるのが特徴で、明るい雰囲気です。また、一般病棟と比較して患者さんの入院期間が長く、回復する過程をじっくり看ることが出来ます。



3階西病棟

外科・整形外科・小児科を中心とした急性期一般病棟です。

幅広い年齢層で、周術期から回復期まで柔軟性を持った看護展開を行っています。在院日数が短縮される中、当病棟では退院後に地域で安心して生活していただけるよう、他職種連携や退院指導に力を注いでいます。また混合病棟であるため看護の質向上に向けて、疾患別グループによる研究発表や学習会を計画的に行っています。スタッフ全員が生き生きとやりがいを持って働くことのできる職場作りを目標に、大いに意見を出し合う活気のある職場です。

4階西病棟

地域包括ケア病棟です。

「地域包括ケア病棟」とは、急性期治療を経過し、病状が安定した患者さんに対して、在宅や介護施設への復帰支援に向けた医療や支援を行う病棟で2021年2月に開設されました。医師・看護師・セラピスト等により、在宅復帰に向けて、治療や退院調整、退院支援を行っています。また専任の医療ソーシャルワーカーが患者さんの退院後のケアについてサポートさせていただいており、チームが一丸となり退院を目指すチームワークの良い職場です。

外来・救急内視鏡センター

入院と在宅生活の橋渡しをする重要な役割を担っています。

24H体制で救急の受け入れもしており、医師と他職種と連携をとりながら患者さんの生活をサポートしていきます。短い期間での関わりですが、質の高い看護が提供できるようスタッフで協力し合っています。先輩ママも多く、色んな相談もでき、明るく楽しい職場です。

後継者育成部

看護学生の就職活動はもちろん、臨地実習、新人看護職員研修のサポートに尽力しています。職場や臨床にスムーズに順応し、基礎看護技術などの実践能力を獲得できるようにお手伝いしています。また、地域の学生さんへ中学生職場体験、高校生ふれあい看護体験(春・夏)を開催し、看護師の仕事の魅力を伝える役割も担っております。

4階東病棟

緩和ケア病棟です。

悪性腫瘍等の治療困難な病気を抱える患者さんやその家族の気持ちに寄り添い、その人らしい時間が過ごせるようにサポートしています。日々、多職種と相談しながら、患者さんにとって何が必要なのか探求しています。患者さんに寄り添いながら、時には一緒に笑ったり、泣いたりしながら看護を実践しています。

地域看護支援室

地域看護支援室は【すべての対象者を「生活者」として支援し、「地域」をフィールドとした「看護」活動の実践に向け、「保健・看護・介護」の連携ならびに院内の連携に貢献するヘルスプロモーション活動を遂行】するビジョンを掲げ、保健領域では健診センター内の保健師の役割を遂行し、看護領域では入院・外来にかかわる専門的な看護介入、デイケア・訪問診療における看護の役割を実践し、日々の活動に反映しています。これからもさらに《ホスピタリティ》を追求し、広島共立病院の「コミュニティーナース」と呼ばれるよう、地域に向けた看護活動をフレキシブルに行い、ヘルスケアの展開をおこなって参ります。



認定看護師の紹介



緩和ケア認定看護師
伊東 哲朗

私は約6年間、緩和ケア病棟に勤務しています。患者・家族が望む生活や希望を尊重した支援を行う緩和ケア領域に興味を持ち、もっと専門的な知識と技術を学びたく、2021年緩和ケア認定看護師の資格を取得しました。私の信条は、①がんの苦痛を感じることなく、生き残るための方策を一緒に考え、苦痛症状を最大限取り除くこと ②不安・つらさ・気がかりを傾聴し、最期まで患者から逃げずにそばに居ることを大切に、「安心」を提供できる看護師でありたいと思っています。また一般病棟で症状緩和に難渋している患者さんの対応などもスタッフと一緒にQOLを高めるケアを考えたり、地域の緩和ケアの普及にも貢献していきたいです。何かあればご相談ください。患者さんにとって最善のケアを一緒に考えていきましょう。



感染管理認定看護師
山下 典恵

感染管理認定看護師の役割は、入院されている患者様をはじめ、外来患者様・医療従事者・入院患者のご家族・来訪者など対象に、感染に対するリスクを最小限に抑えるために、感染管理を計画・実践・評価し、安全安心な医療の提供の場になるように活動しています。



緩和ケア認定看護師
有田 まゆか

緩和ケア病棟では、様々な職種と連携を図りながら症状コントロールや看取り退院支援など行っています。緩和ケア分野は、分野がとても広く毎日悩みながらですが、患者様・ご家族に限られた時間を大切に笑顔で過ごせるよう看護を提供しています。



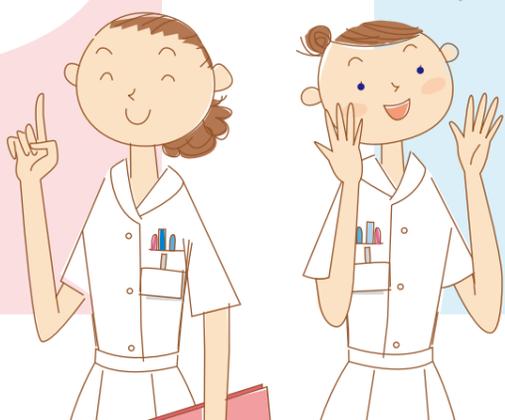
集中ケア認定看護師
中村 紀子

生命の危機的状況にある患者様の重症化の予防と、患者様を支えるご家族の精神的援助を目標として看護を行っています。私の活動の一つにRST活動があります。RST（呼吸サポートチーム）とは医師、臨床工学技士、理学療法士、看護師など他職種がさまざまな知識を持ち寄り、人工呼吸器を装着している患者さんの管理方法の標準化と人工呼吸器からの早期離脱、質の高いケアの提供を目的としている専門チームです。

手術看護認定看護師
林 操

患者さんの手術が決まった時点、また地域の病院から紹介があった時から私たちのサポートが始まります。外来、地域連携部、手術室、病棟と連携をとり、患者さんの病歴、生活背景を統合的に捉え、起こり得る手術合併症を予測します。患者さんに寄り添い、科学的根拠に基づいた看護を実践していきたいと思っています。

頼りになる
看護師が
いっぱい!



研修風景



看護技術研修

おちついて
慎重に...



救急救命処置



ストレス解消法

実際に
体験するとお互いの
気持ちがわかるね!



採血注射



血糖測定



経管栄養法



研修を重ねて
だんだん自信が
ついてきました!

酸素吸入療法



病院食・嚥下食

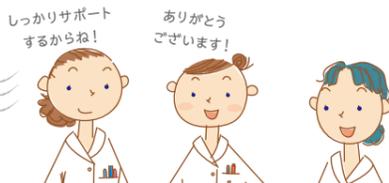
試食してみると
発見がいっぱい



良い看護ケアを
提供するための
第一歩!



クリニカルラダーで、看護師一人ひとりのキャリア開発をきめ細かくサポート。

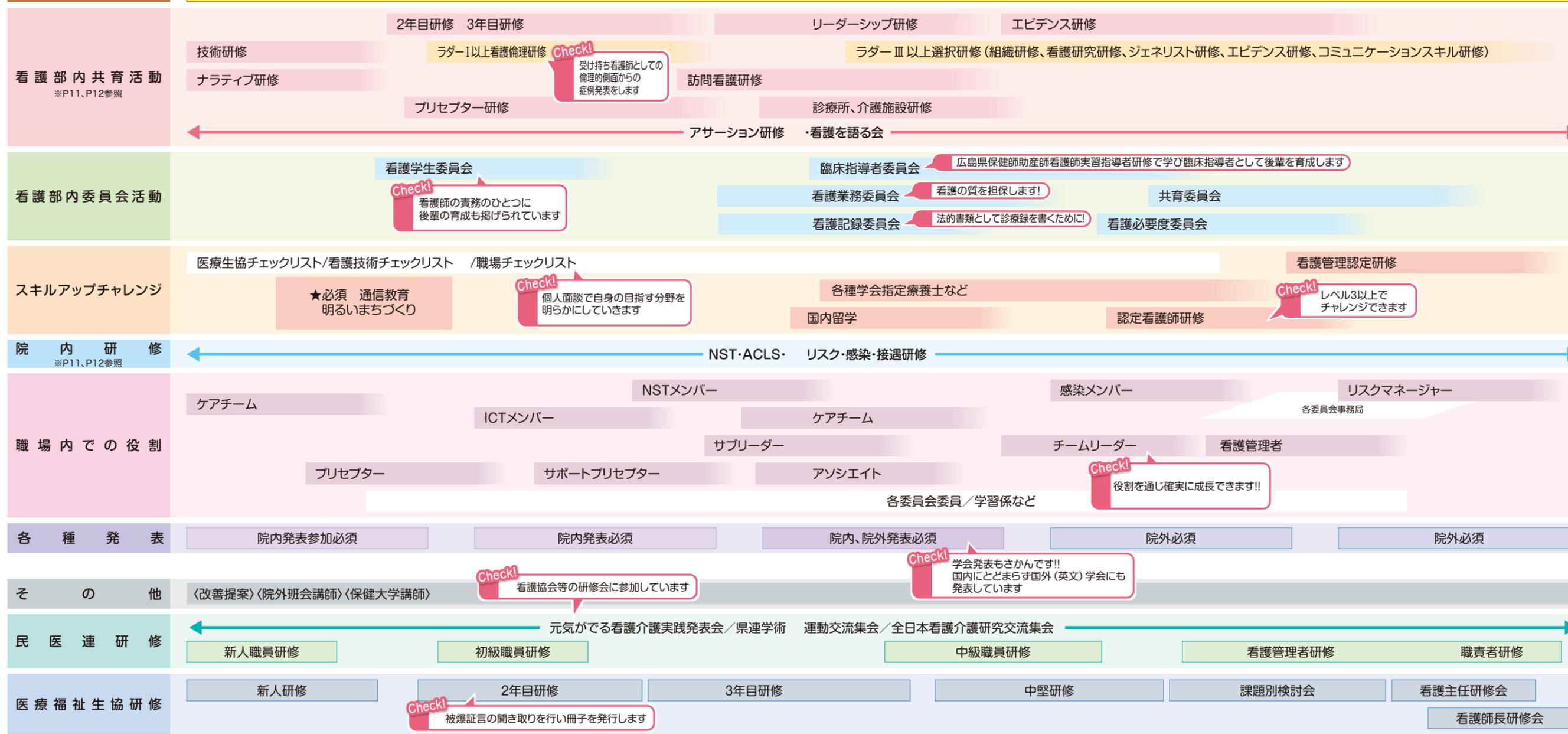


当院ではこのようなクリニカルラダーに沿って看護の臨床実践能力を評価し、教育的サポートの基準を設けています。
看護師一人ひとりの仕事の満足度を高め、キャリアアップを支援しています。



レベル	ラダーⅠ		ラダーⅡ		ラダーⅢ		ラダーⅣ		ラダーⅤ			
	JNA版ラダー	共立ラダー	JNA版ラダー	共立ラダー	JNA版ラダー	共立ラダー	JNA版ラダー	共立ラダー	JNA版ラダー	共立ラダー		
定義	レベル毎の定義		レベル毎の定義		レベル毎の定義		レベル毎の定義		レベル毎の定義			
看護の核となる実践能力	ニーズをとらえる力 SDH(健康の社会的決定要因)五感	レベル毎の目標	基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する	ケアの受け手や状況(場)のニーズを自らとらえる	標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する	ケアの受け手や状況(場)の特性をふまえたニーズをとらえる	ケアの受け手の疾病観について対応できる	ケアの受け手や状況(場)を統合したニーズをとらえる	ケアの受け手と共同のいとなみができる	幅広い視野で予測的判断をもち、看護を実践する	より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する	
	ケアする力 ケアリング	レベル毎の目標	助言を受けながら安全な看護を実践する	ケアの受け手や状況(場)に応じた看護を実践する	ケアの受け手や状況(場)の特性を踏まえた看護を実践できる	ケアの受け手やその関係者、多職種と連携ができる	ケアの受け手や状況(場)の特性を踏まえた看護を実践できる	ケアの受け手やその関係者、多職種と連携ができる	ケアの受け手と共同のいとなみができる	様々な技術を選択・応用し看護を実践する	最新の知見を取り入れた創造的な看護を実践する	
	協働する力 カンファレンス、カルテ閲覧	レベル毎の目標	関係者と情報共有ができる	看護の展開に必要な関係者を特定し、情報交換ができる	ケアの受け手やその関係者、多職種と連携ができる	ケアの受け手やその関係者、多職種と連携ができる	ケアの受け手やその関係者、多職種と連携ができる	ケアの受け手やその関係者、多職種と連携ができる	ケアの受け手やその関係者、多職種と連携ができる	ケアの受け手やその関係者、多職種と連携ができる	ケアの受け手やその関係者、多職種と連携ができる	ケアの受け手の複雑なニーズに対応できるように、多職種の力を引き出し連携に活かす
	意思決定を支える力 IC・ACP・DNAR	レベル毎の目標	ケアの受け手や周囲の人々の意向を知る	ケアの受け手や周囲の人々の意向を看護に活かすことができる	ケアの受け手や周囲の人々の意向を看護に活かすことができる	ケアの受け手や周囲の人々に意思決定に必要な情報提供や場の設定ができる	ケアの受け手や周囲の人々に意思決定に必要な情報提供や場の設定ができる	ケアの受け手や周囲の人々に意思決定に必要な情報提供や場の設定ができる	ケアの受け手や周囲の人々に意思決定に必要な情報提供や場の設定ができる	ケアの受け手や周囲の人々に意思決定に必要な情報提供や場の設定ができる	ケアの受け手や周囲の人々に意思決定に必要な情報提供や場の設定ができる	ケアの受け手や周囲の人々に意思決定に必要な情報提供や場の設定ができる

臨床実践レベル総合決定 **ナラティブチャンス(別シート活用)**



*看護部年間共育プログラム

ラダーレベル	研修名	研修内容・目的	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
必須研修	なし	新人看護師 配属前研修 •当院の沿革と方針・組織全体の機能を把握し、医療チームの一員としての役割を学ぶ •基礎看護技術を身につけ、職場への適応をスムーズにする	配属前研修プログラム											
		新人看護師研修 •基礎看護技術を身につけ、職場への適応をスムーズにする •看護観形成にむけての学習、集団討議ができ、1年の振り返りができる		麻薬・疼痛コントロール/キャリアデザイン	救急救命処置技術 急変対応	輸血	看護サマリー	多重課題	ストレス解消法	SDH 褥瘡	エンゼルケア ACP/看護観のまとめ方	クリニカルラダー	タッチングケア	看護発表会
	I (2年目必須)	2年目研修 •基礎看護技術を再学習することにより、確実に技術を身につけ実践することができる •【いのちの章典】受け持ち看護師としての倫理的感受性を高める		患者の社会的背景を理解することを学ぶ		WOC 褥瘡処置 皮膚損傷ケア		ACLS		看取りの看護		リーダーシップについて	看護発表会	
	II (3年目必須)	3年目研修 •基礎看護技術を再学習することにより、確実に技術を身につけ実践することができる •【3つの視点と4つの優位】訪問看護研修を通じ、地域との連携を視野に入れ、受け持ち看護師としてその人の生活や背景を学ぶことができる	研修説明会		師長 シャドウイング	振り返り報告会		振り返り報告会/看護観のまとめ方				振り返り報告会	看護発表会	
	IIIからV	アソシエイト研修 新人看護職員育成において、職場内教育担当者としての責任、役割が発揮できる		新人看護職員の特性	評価 フィードバック	コーチング	問題解決技法	ストレス・マネジメント	コミュニケーション			年度まとめと課題提案	次年度体制 アソシエイトの役割	次年度体制新人研修プログラム
IIからIII	リーダー プリセプター研修 新人看護職員育成において、チーム支援型のプリセプターリーダーとしての役割が果たせる		新人研修準備							年度まとめと課題提案				
選択研修	II以上 全員対象	倫理研修 SDH (SVS) の視点で看護に活かす!	ラダーにおける必須項目:「SDH」の知識を得て看護実践へ活かす											
	III以上 または ラダーIIIを目指す内容	組織研修 医療生協を学ぶ!				看護観を語ろう!	医療生協の歴史	2030年ビジョン	地域連携	心理的安全性	民主的な職場作り			
		看護研究研修 看護研究を学ぶことで看護実践し、看護研究の指導ができる			看護研究とは何か?	抄録のまとめ方		プレゼンテーション		事例発表				
		ジェネラリスト研修 専門的分野の育成者を増やし現場実践できる		学習会の立て方	認知症ケア	手術管理	皮膚・排泄ケア	集中ケア	感染管理	緩和ケア	緩和ケア			
		エビデンス研修 ジョブローテーション 看護実践者として、看護の視野を拡げ、また自身のキャリアの向上および看護感性を磨くことを目的とした実践研修とする			6月～11月 毎月各職場から1名選出 他職場にローテーション研修:3日間 研修翌月:リフレクション									
コミュニケーションスキル 「聴く」「伝える」為の知識・スキルを学び、コミュニケーションの実践に反映できる			対応に強くなる! 対話実践	報告したくなる スキルアップ	「聴く」為のエッセンス	レッツ! 相互理解 コミュニケーション	対応に強くなる! 対話実践	報告したくなる スキルアップ	「聴く」為のエッセンス	レッツ! 相互理解 コミュニケーション	対応に強くなる! 対話実践	報告したくなる スキルアップ		

*広島共立病院年間教育プログラム

広島共立病院 年間行事予定				総括会議 県連総会	ISO内部監査	総代会	大規模災害訓練	上半期総括会議	ISO内部監査 安佐医学会	民医連学術運動 交流集会					
着手予定課題				総代会方針検討 ▶	教育月間 (民医連) ▶	教育月間 (医療生協) ▶	上半期振り返り 下半期課題明確化	生協強化月間 ▶	次年度予算 検討開始	年度まとめ開始時期 ▶					
研修名	研修目的	対象者	担当委員会	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
病院管理	災害訓練全体学習会 大規模災害発生時、地域における災害医療の役割を果たせるよう学習する	全職員対象	管理委員会					災害医療講演会	災害訓練 (机上)					災害訓練全体学習会	
	5S 5Sについて学習する (外部講師) 2021年度	職場長 5Sリーダー	医療安全管理会議						5S						5Sラウンド学習会
	接遇研修会 接遇の基本を学ぶ (外部講師)	全職員対象	接遇委員会						接遇学習会						
委員会	目標設定・評価 業績評価に係る個人目標シートの目標設定・評価について理解でき、自らのシートに反映できる	2021年新人	教育システム委員会	目標の立て方		面談	個人目標評価		面談			面談			
	情意考課研修 情意考課について基本的な知識を学ぶことができる	2021年新人	教育システム委員会		情意考課について	情意考課実施									
委員会関係研修	感染研修 標準予防策について理解が深まる	全職員 必須研修	院内感染対策会議・ICT・リンクスタッフ												
	リスクマネジメント研修 正しい確認方法を学ぶ		医療安全管理会議												
	リスクマネジメント 薬剤研修 医薬品の医療安全を学ぶ		医薬品安全管理者												
	医療機器 ME機器の使用方法を理解できる		臨床工学士												
	個人情報 個人情報の管理について学ぶ		診療情報課												
	認知症研修 認知症の人を理解し、適切な対応ができる		認知症ケアチーム												
	接遇研修 第一印象の重要性と身だしなみの徹底		全職員対象	接遇委員会											
	栄養サポート研修 栄養管理に関する基本的知識や当院で実践している具体的手法の活動について学ぶことができる		全職員対象	栄養サポート会議			学習会								
	社会情勢に関わる研修 社会を取り巻く情勢の変化を学び、病院関係者として必要な知識・技術・態度を学ぶ研修会とする		全職員対象	委員会事務局											
	院内救急蘇生研修会 救急蘇生の実際にかかす心肺蘇生の理論と実際を学ぶ		全職員対象	救急医療委員会			学習会	学習会		学習会	学習会	学習会			
地域連携推進委員会研修 地域連携に必要な基礎知識 SDH ACP の視点を学ぼう	全職員対象	地域連携推進委員会				学習会		学習会	学習会						
係研	診療報酬について 診療報酬について学ぶ (改定についての学習)	全職員対象	事務管理部											学習会	

Check! 個人目標を自分で評価し、また上司と面談し、年度末までの到達を目指します

Check! 最新情報の学習 チーム医療の実践方法etc 多職種と一緒に学びます



Q 新人の育成計画・教育研修体制はどのようになっていますか？

A 制度教育研修は勤務時間内で行っています。職場ではチーム支援型を導入し、先輩ナース（プリセプター）が新人の相談にのり、共に成長していけるようにしています。また、看護職員としての基礎知識と技術を職場内教育と集合研修で獲得していきます。続く、2年目、3年目の教育研修では地域、在宅にも出かけ、患者さんの生活の場を知り、看護展開に活かせるようにしていきます。

※P3～8参照



Q 新人として入社したらどのようなイベントがありますか？

A まずは入協式がスタートの場となります。その後多職種合同の歓迎会があります。また、職場でもさまざまな工夫を取り入れ、新人ナースが一日も早く新しい環境に慣れるよう配慮しています。6月には、リフレッシュ研修もあります！内容は楽しみに！！

Q キャリアアップに関してはどのような考えがありますか？

A 専門知識を深めたい、看護管理に進みたいなどキャリアを充実させたい人や結婚や出産など、人生の節目で働き方を変えたい人など、看護師の要求はさまざまです。看護師のワーク・ライフ・バランスをとりながら教育システムにもあるような研修受講をはじめ、キャリアを継続できるようにしていきます。



教育・研修について

Q 勤務時間や夜勤体制はどうなっていますか？

A 日勤（8時30分～17時）、準夜勤（15時30分～24時）、深夜勤（0時～8時30分）の3交替制をとっています。準夜帯では消灯時間の22時まで、遅番勤務（13時30分～22時）も取り入れています。深夜帯も、早番勤務（8時～）等で手厚い看護ができる体制をつくっています。夜勤回数は1ヶ月8回以内を基本としています。

Q お休みは？

A 日曜・祝日・土曜日（月2回）、年末年始（6日間）、盆休み（8/15）です。お休み以外の土曜日は半日勤務です。夏期休暇（5日間）、有給休暇、結婚休暇、産前産後休暇、子の出生時の父親休暇等もあります。

Q シフトの組み方に工夫はされていますか？

A 各看護師の生活サイクルに合わせ、希望を取り入れながら勤務体制を組んでいます。1ヶ月ごとの勤務表を作成する前に、勤務希望をつのるしくみをつくっています。当院では看護職員の健康を考え、正循環を取り入れています。また、日勤深夜、準夜日勤パターンは組みません。



Q 急な欠勤に備えるリリーフ体制はありますか？

A やむをえない欠勤はどうしてもあります。その時は職場長に連絡をもらい、職場長は安全に看護が提供できる体制を考えます。場合によっては他の部署から応援に入ることもあります。

シフト体制について



仕事のこト・シフトのこト
育児との両立など
知っておくと安心♪

Q メンタルヘルスの不調を予防する取り組みはありますか？

A 組織内での相談窓口のしくみもありますが、どうしても言えない事や仕事以外の事など、外部の人には言える事もあると思います。そこで、いつでも自由に無料で相談でき、プライバシーも保護されているカウンセリングルームに個人でアクセスできる制度があります。電話・メールでも相談でき、48時間以内に必ず返信もあり、何度でもやりとりが可能です。

メンタルサポート体制

産業医・医療安全管理者による組織的なバックアップ体制が充実しています。心がしんどいと感じたら、一人で抱え込まずにまず誰かに話してみよう。きっと一人じゃないことに気づき、話しているうちに解決できる糸口が見えてくるかもしれません。いつでも新人研修責任者等に声をかけてください。



Q 働きやすい職場づくりにどのように取り組んでいますか？

A 業務配分は、技術チェックリスト、面談、職場内教育等を通じ、到達度を把握した上で行います。ですから夜勤に入る時期も「個人によって差があってよし」としています。職場では一人ひとりが意見を積極的に提案することを大切にしています。看護職員は新人からベテランまで幅広く、仕事以外のことでも相談ののってもらえる仲間がいます。看護管理者等に相談できる機会もつくっています。

Q 労働安全衛生はどのようになっていますか？

A 病院で働く看護職は、放射線被曝や感染、抗がん剤や消毒薬への曝露、腰痛などさまざまなリスクにさらされています。当院では、職場の安全衛生に関する事項について、災害防止や健康の保持増進対策などの施策をより効果的なものにするよう衛生委員会を設置し、活動しています。

Q 医療安全対策はどのようになっていますか？

A 当院では医療安全管理部を設置し、医療安全管理者（リスクマネージャー）や医療安全推進者（セーフティリーダー）をとおいて、医療安全に関する研修や教育の実施のほか、院外からの情報収集や職場での安全管理の推進などを実施しています。また、セーフティ・サービスアップカードを活用してインシデントやアクシデントの報告を行い、報告を集約、分析して、改善策を職場に返すシステムを運用しています。仮に医療事故が発生した場合、職員みんなで支え、立ち直りも支えます。状況によってはカウンセラー、弁護士など専門家の援助も依頼するしくみも整っています。

Q ハラスメントへの対策はありますか？

A ハラスメント（「パワハラ」「セクハラ」など）に関する苦情の申し出や相談を行うことが出来る職員（相談員）がいます。職場におけるハラスメントの防止及び発生時における対応マニュアルがあり問題を迅速かつ適切に解決するように努めています。

Q 育児休暇中、病院からの情報提供はありますか？

A 育児休暇中等、病院の月次報告や総経理からの手紙などを毎月郵送しています。また、学習会のお知らせもしています。

看護師ママをサポートします！

Q 子育て支援の環境はありますか？

A 共立ひよこ保育園、共立どんぐり保育園を広島医療生協が運営しています。どちらも広島市の認可保育園で、広島共立病院看護師支援の独自事業として、休日・夜間保育も可能です。



リスクマネジメントについて

子育て支援について